

平成20年度の成果重視事業に係る評価書(案)

評価実施時期：平成21年6月

担当部局名：林野庁国有林野部経営企画課

評価書公表時期：平成21年7月

政策手段名	国有林野情報管理システムの開発	政策体系上の位置付け																								
		VI-⑪-目標①																								
政策手段の概要	<p>国有林野事業において、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、多様化している国民の要請に適切に対応するため、平成16年度に策定した「国有林野事業関係業務の業務・システム最適化計画」に基づき、「改善分散処理システム」(注1)と「森林情報システム」(注2)を統合した「国有林野情報管理システム」を開発し、レガシーシステムの刷新によるシステム運用経費の削減及び電子申請への対応など、効率的な管理経営の実現を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2" style="text-align: center;">設計・開発</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">運用</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">17年度</th> <th style="text-align: center;">18年度</th> <th style="text-align: center;">19年度</th> <th style="text-align: center;">20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: right;">500,383千円</td> <td style="text-align: right;">373,560千円</td> <td style="text-align: right;">656,683千円の内数</td> <td style="text-align: right;">657,410千円の内数</td> </tr> <tr> <td>翌年度繰越額</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行額</td> <td style="text-align: right;">404,250千円</td> <td style="text-align: right;">368,877千円</td> <td style="text-align: right;">543,321千円</td> <td style="text-align: right;">543,629千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業実施期間：平成17年度～20年度 注1：国有林野事業の造林、立木販売等の主要業務及び経理、貸付等の定型業務を処理するシステム。 注2：森林資源や森林計画に関する情報を管理するシステム。</p>			設計・開発		運用		17年度	18年度	19年度	20年度	予算額	500,383千円	373,560千円	656,683千円の内数	657,410千円の内数	翌年度繰越額	0	0			執行額	404,250千円	368,877千円	543,321千円	543,629千円
	設計・開発			運用																						
	17年度	18年度	19年度	20年度																						
予算額	500,383千円	373,560千円	656,683千円の内数	657,410千円の内数																						
翌年度繰越額	0	0																								
執行額	404,250千円	368,877千円	543,321千円	543,629千円																						
政策手段に関する評価結果の概要と指標	<p>得ようとした効果（達成目標、目標設定の考え方、手段と目標の因果関係、達成度合いの判定方法・基準、目標期間）</p>	<p><達成目標> 平成19年度からの運用開始後の目標として、</p> <p>① システムの維持管理に要する運用経費を従来のシステムより約7.3億円/年削減する（平成19年度、20年度）。 （平成16年度実績：約12.7億円/年 → 平成19年度以降：約5.4億円/年）</p> <p>② 国有林野の使用許可・使用承認の更新に係る電子申請を全国で利用可能にし、電子申請受付件数割合を30%にする（平成19年度（平成20年度も同様））。</p> <p><目標設定の考え方></p> <p>① 平成16年度に策定した「国有林野事業関係業務の業務・システム最適化計画」において、各拠点（林野庁本庁・森林管理局・署等）ごとにシステムを持つ構成から一箇所の拠点への集中化によるサーバ・クライアント方式への変更、オープン化（特定の業者に依存しないシステムへの変更）等により、年間約7.3億円（試算値）のシステム運用費削減が目標値として設定されていることから、これを目標とする。</p> <p>② 国有林野の使用許可・使用承認の更新に係る申請の電子化による申請者の利便性の向上を目指すため、電子申請の導入を図ることとし、導入初年度（19年度）は、公的機関からの申請割合が全</p>																								

体の約30%程度であることから、これを全て電子化することを目標とする。

なお、平成19年度はシステムの切り替えに伴う移行作業や新システムにおける初期障害発生への対応が必要となったことから、電子申請受付(平成19年度開始予定)への取り組みが遅れたため、平成20年度も電子申請受付件数割合30%を目標とする。

<手段と目標の因果関係>

- ① 各拠点(林野庁本庁・森林管理局・署等)ごとにシステムを持つ構成から、一箇所の拠点への集中化によるサーバ・クライアント方式への変更、オープン化等を通じてシステムの運用経費の削減が可能となる。
- ② 電子政府の総合窓口(e-Gov)を活用し、国有林野の使用許可・使用承認の更新に係る申請手続きの電子化を実施することにより、電子申請へ移行させることが可能となる。

<達成度合いの判定方法・基準>

上記の達成目標を達成した場合を「達成」とする。

<目標期間>

- ① 平成19～20年度(2年間)
- ② 平成19年度(1年間)

把握した効果
(効果の把握
の方法、把握
された効果、
予算執行の効
率化・弾力化
によって得ら
れた効果)

<効果の把握の方法>

- ① システムの維持管理に要する運用経費の平成16年度実績に対する削減額。
- ② 国有林野の使用許可・使用承認の更新に係る電子申請の受付件数割合。

<把握された効果>

- ① 平成20年度においては、ADAMS II(官庁会計処理システム)の移行に伴い国有林野情報管理システム的大幅なプログラム改修が必要となったものの、システムの運用経費は約5.4億円で、平成16年度実績に対して約7.3億円/年を削減したところであり、運用経費を従来のシステムより約7.3億円/年削減するという目標を達成した。
- ② e-Gov(電子政府の総合窓口)へ電子化した申請様式を掲載し、これによりダウンロードによる申請書様式の取得が可能となったことから、申請者の利便性の向上に資したところであるが、申請書の受付窓口である地方出先機関等において、現時点ではe-Govシステムを利用した申請手続きの実施ができない環境にあり、申請手続きの電子化の目標は未達成となっている。

<予算執行の効率化・弾力化によって得られた効果>

- 国庫債務負担行為

		<p>平成17～18年度の2年間の一括契約により、同一開発業者による継続的な開発が可能となり、単年度で開発業者が変更される場合と比較してシステムの設計・開発に係る確認期間が省略でき、契約に係る事務の簡素化が図られた。</p> <p>国庫債務負担行為の活用による効率的な予算執行により、システム設計・開発、データ移行等が当初の計画どおりに行われ、平成19年度からは新システムの運用を開始することができた。</p> <p>○ 繰越明許費</p> <p>システム開発期間及びコスト削減の実証期間を確保するため、予算の繰越等の弾力的な予算執行が行えるようになっているが、平成17年度から平成20年度にかけては、その事態には至らなかった。</p>	
	評価の結果	<p>システムの運用経費については、当初の削減目標である、約7.3億円の削減を19年度に引き続き達成した。</p> <p>申請手続きの電子化については目標が未達成となっていることから、e-Govシステムを利用した申請手続きができない環境を整備するための体制整備を行い、目標達成に向けた取り組みを実施する考えである。</p>	
関係する施政方針演説等内閣の重要政策（主なもの）	施政方針演説等	年月日	記載事項（抜粋）
	第166回国会施政方針演説	H19. 1. 26	（「健全で安心できる社会」の実現） 「京都議定書目標達成計画」に基づき、地球温暖化対策を加速します。
	森林・林業基本計画	H18. 9. 8	第2 森林の有する多面的機能の発揮並びに林産物の供給及び利用に関する目標 3 森林の有する多面的機能の発揮に関する目標
評価会委員の意見			